



エコアクション21

認証・登録番号0000682

2023年度

環境経営レポート



ゾーンケミカル株式会社

(対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

作成 2024年5月29日

目次

1. 組織の概要	P - 2
2. 対象範囲	P - 6
3. 環境経営方針	P - 7
4. 環境経営目標	P - 8
5. 環境経営計画	P - 8
6. 環境経営計画に基づき実施した取組実績	P - 9
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P - 10
8. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	P - 11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	P - 12

工場周辺の動物たち



コウノトリ



カモ



メダカ



クサガメ

■計画の策定（Plan）

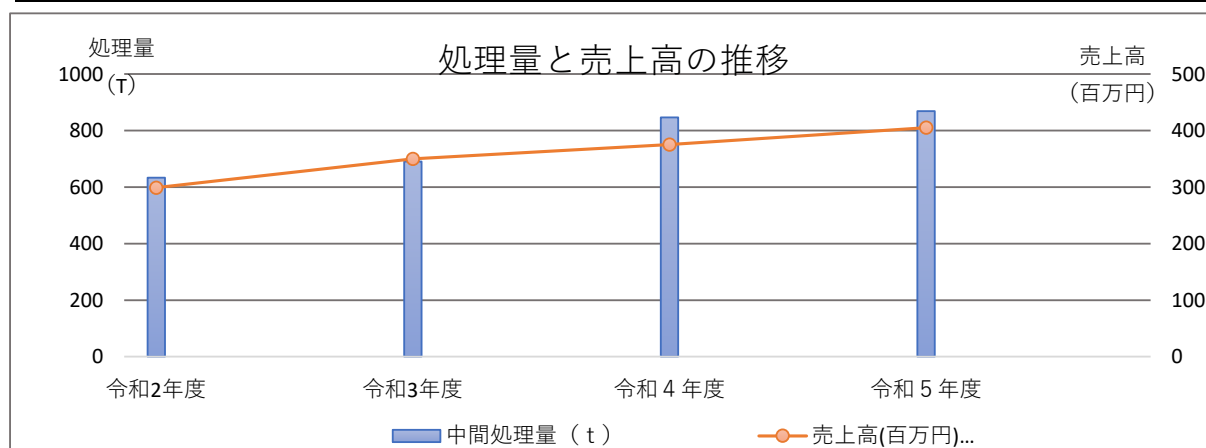
1 組織の概要

商 号	ゾーンケミカル株式会社
代 表 者	代表取締役 佐藤 誠
所 在 地	群馬県邑楽郡板倉町大字海老瀬2082-1
連 絡 先	TEL : 0276-82-1278 FAX : 0276-82-1279 メール : zone-chemical@ac.wakwak.com
会 社 設 立	昭和60年7月
資 本 金	2000万円
社 員 数	16名
事 業 内 容	産業廃棄物の中間処理及び収集運搬、洗浄溶剤の販売

産業廃棄物処理業の情報公表事項

①事業規模の推移

活動規模	令和2年度 (2020/4～ 2021/3)	令和3年度 (2021/4～ 2022/3)	令和4年度 (2022/4～ 2023/3)	令和5年度 (2023/4～ 2024/4)
収集運搬量（t）	528.5	561.4	655	661.3
中間処理量（t）	633.1	690.3	846.4	868.6
売上高(百万円) 〈10～9月〉	299	350	375	405
社 員(人)	16	16	16	16
工場敷地面積(m ²) 〈測量値〉	2,160.85	2,160.85	2,160.85	2,160.85
床面積(m ²)	1,046.17	1,046.17	1,046.17	1,046.17



②産業廃棄物処理業における施設等の状況

収集運搬車一覧

車 種	初年度登録年月	形 式	登録ナンバー	最大積載量
普通貨物	平成27年 2月	平ボデー	群馬100た 5-69	3. 8 ⁵ t
普通貨物	平成30年 3月	平ボデー	群馬100た 51-12	3. 8 ⁵ t
普通貨物	平成29年 2月	平ボデー	群馬100た 34-24	3. 4 ⁵ t
普通貨物	平成25年12月	平ボデー (ハイリフト車)	群馬100そ 83-43	3. 0 t
小型貨物	平成31年 3月	ライトバン	群馬430ち 12-78	0. 4 t

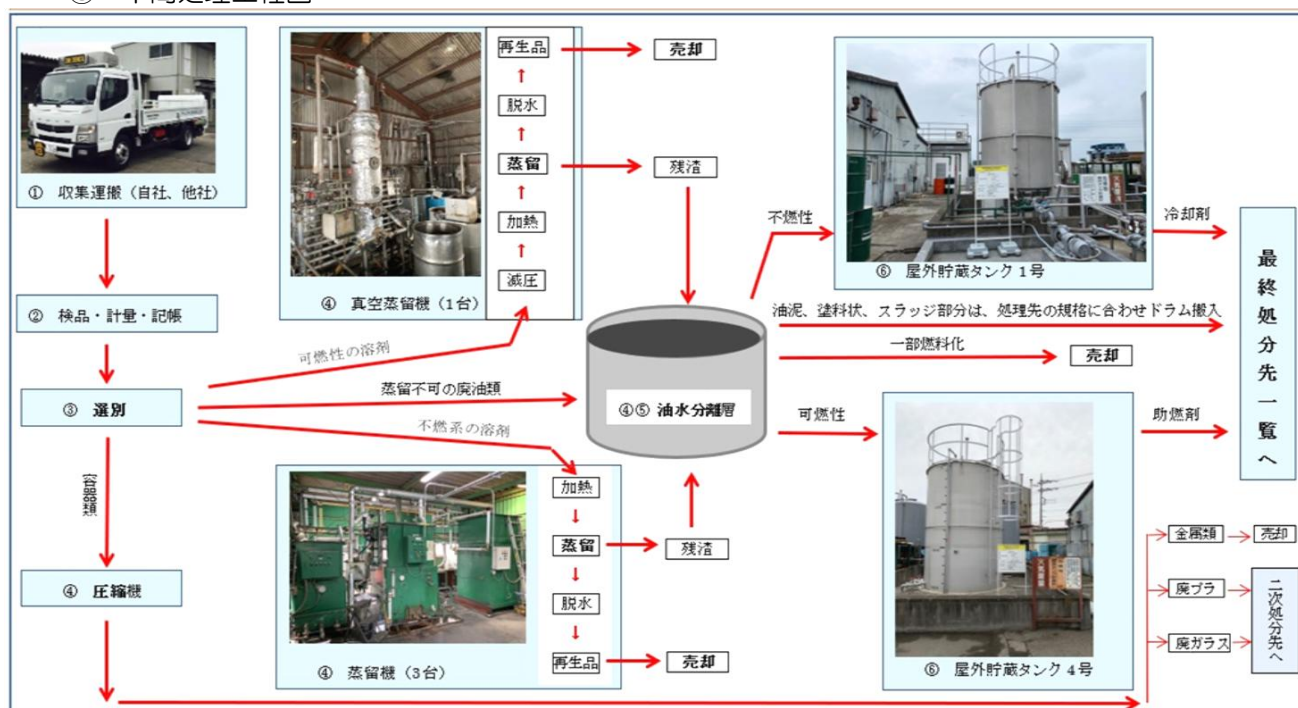
保管施設

区 分	設備・施設名	保管面積	保管上限容量
中間処理前保管	第2保管所	80. 0m ²	76. 8m ³
中間処理後保管	第1保管所	26. 5m ²	22. 4m ³
	管理倉庫	20. 0m ²	14. 4m ³
	1号タンク	15. 8m ²	10. 0m ³
	4号タンク	28. 0m ²	15. 0m ³

中間処理施設

処理施設	産廃の種類	処理能力	処理方式
油水分離機	廃油	4, 000ℓ/4hr/日	静置
真空蒸留機	廃油	1, 600ℓ/日	真空蒸留
単蒸留機 1,2,3号	廃油	8, 000ℓ/日	単蒸留

③ 中間処理工程図



④ 産業廃棄物処理業の許可の状況

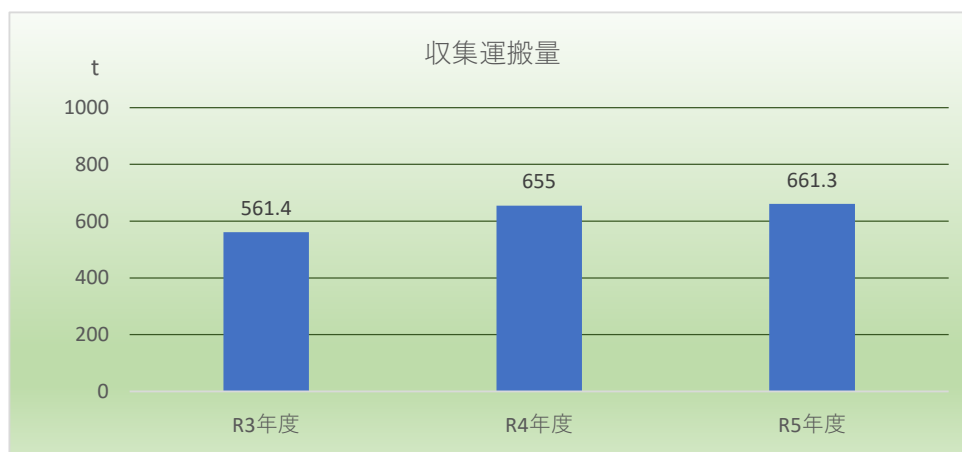
都道府県	許可番号	許可年月日 及び 有効期限	産業廃棄物							特別管理産業廃棄物							
			汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	（処分は容器類に限る） 廃プラスチック類	（処分は容器類に限る） 金属くず	ガラスくず・コンクリート屑 及び陶磁器くず（処分は容器類に限る）	引火性 廃油	廃油(有害)						
											トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	一、一、一トリクロロエタン	1，4，ジオキサン	ベンゼン
処分業			取得許可品目														
群馬県	優 01020002897	平成30年 1月11日 令和 7年 1月10日		○			○	○	○								
群馬県	優 01070002897	令和 4年 7月 1日 令和11年 6月30日								○	○	○	○	○	○	○	○
収集運搬業			許可品目														
福島県	00707002897	令和 5年10月23日 令和10年10月 6日		○													
福島県	00757002897	令和 5年10月23日 令和10年10月 6日								○	○	○	○	○	○		
茨城県	00801002897	令和元年 9月10日 令和 6年 8月17日	○	○	○	○	○	○	○								
茨城県	00851002897	令和 5年 7月 6日 令和10年 5月18日								○	○	○	○	○	○		
栃木県	優 00900002897	平成31年 3月28日 令和 8年 3月 1日	○	○	○	○	○	○	○								
栃木県	優 00950002897	令和 4年 9月21日 令和 11年 9月20日								○	○	○	○	○	○		
群馬県	優 01000002897	平成30年 1月11日 令和 7年 1月10日	○	○	○	○	○	○	○								
群馬県	優 01050002897	令和 4年 5月12日 令和11年 5月11日								○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	01101002897	令和 5年12月12日 令和10年10月27日	○	○	○	○	○	○	○								
埼玉県	01151002897	令和 5年10月 4日 令和10年 9月 5日								○	○	○	○	○	○		
千葉県	01200002897	令和 5年12月19日 令和10年12月 8日		○													
千葉県	01250002897	令和 5年12月19日 令和10年11月 9日								○	○	○	○	○	○		
東京都	1300002897	令和 6年 4月26日 令和10年 4月25日		○													
東京都	1350002897	令和 6年 4月26日 令和10年 4月25日								○	○	○	○	○	○		
新潟県	01509002897	令和 5年 5月25日 令和 10年 4月10日		○													
新潟県	01559002897	令和 5年 2月24日 令和 10年 2月21日								○	○	○	○	○	○		
長野県	2009002897	令和4年 8月23日 令和9年 8月22日		○													
長野県	2059002897	令和4年 8月23日 令和9年 8月22日								○	○	○	○	○	○		

優・・・優良産廃処理業者認定制度を取得。

⑤ 産業廃棄物の処理実績

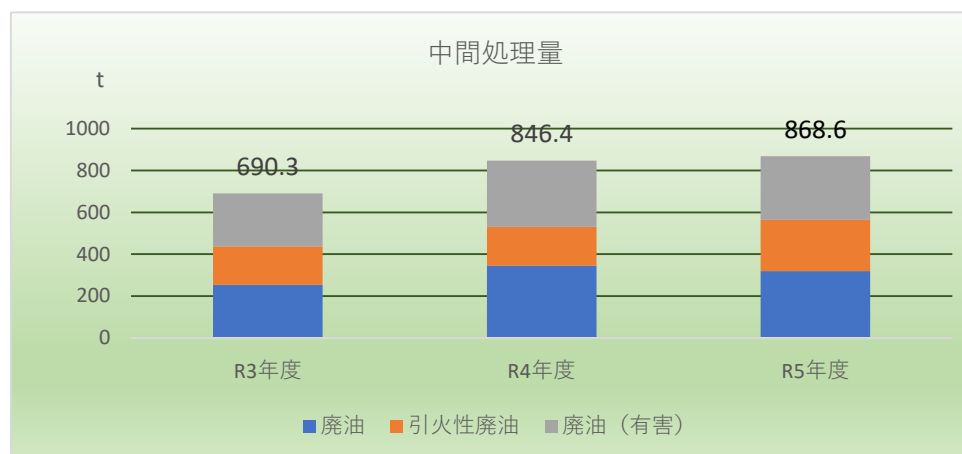
(1) 収集運搬量

廃棄物を運搬した数量。（他社持込、排出者持込を除く。）



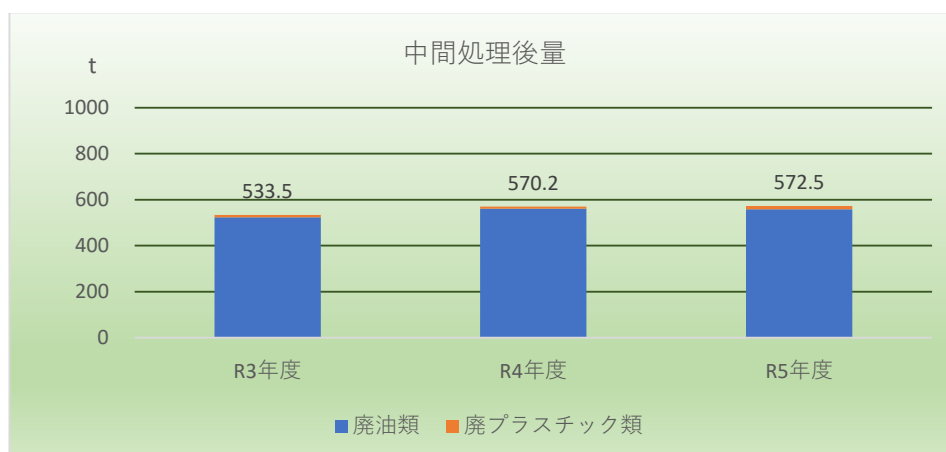
(2) 中間処理

廃棄物を中間処理した数量。（有価物を除く。）



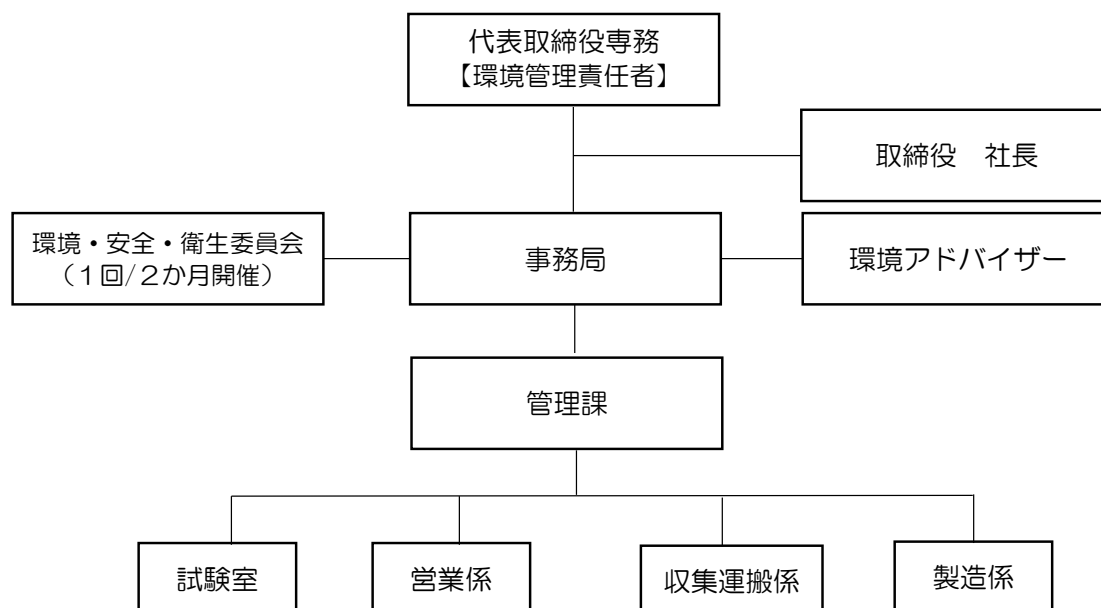
(3) 中間処理後量

中間処理後、二次処分先への委託数量。（売却を除く。）



2 対象範囲

会社組織



担当者	役割
代表取締役専務 【環境管理責任者】	- 当社の代表者として、EMSに関して次の役割を負う。 (イ) 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。当該責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 (ロ) EMSの構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器設備・技術技能を含む）を準備する。 (ハ) 環境方針を制定する。 (ニ) EMSの構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
取締役社長	EMSの構築と運用を円滑に行い、代表者による見直しのための情報として、その構築・運用に関する情報を提供する。
環境アドバイザー	EMSに関する取組を補佐する。
事務局	事務局として実務全般を管理する。
管理課課長	自己の管理範囲内における管理責任者として、全員参画によるEMSの運用及び管理に責務を負い、課内の必要な人材を育成、パフォーマンスの向上を図る。
収集運搬係主任	係内の計画及び実施に責任をもつ。
製造係主任	(同上)
環境・安全・衛生委員会	EA21活動の環境目標及び環境活動計画等の策定に参画し、定期的に進捗状況を確認して問題点及び改善を具申する。又、業務上の安全衛生関する事項を起案、検討して推進する。

環境経営方針

<企業理念>

当社は、金属洗浄溶剤を販売・回収・再生・処理を一貫して行う事により、顧客のニーズにあった商品やサービスを提案するとともに、使用後の廃棄物については、再資源化を勧める事で、循環型社会の形成に貢献する事を目指していきます。

また、収集運搬、中間処理については、「安全衛生、遵法、適正処理」を主眼に置き、省エネルギー化へ日々努力し、環境経営の継続的な改善活動を実施していきます。

<事業活動>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 中間処理の省エネルギー化に努めます。
3. 収集運搬における省エネルギー化に努めます。
4. 事務用紙の廃棄物削減に努めます。
5. この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに社外にも公開します。

2021年4月1日
ゾーンケミカル株式会社
代表取締役 佐藤 誠

4 環境経営目標

No.	環境目的	R5年度	R6年度	R7年度
	項 目	(1年目の目標)	(2年目の目標)	(3年目の目標)
1	CO2排出を削減するために、収集運搬量1Ton当たりの車両燃料軽油量を削減する	＜2014年度実績に対して10%削減＞	＜2014年度実績に対して11%削減＞	＜2014年度実績に対して12%削減＞
	＜2014年度実績値：22.96 CO ₂ kg/運搬t＞	(22.46kg)	(22.21kg)	(21.96kg)
2	水資源削減のために、蒸留工程等の改善を図る（仕込量を基準）	＜2014年度実績に対して20%削減＞	＜2014年度実績に対して21%削減＞	＜2014年度実績に対して22%削減＞
	＜2014年度平均値実績：0.67m ³ /t＞	(0.536m ³ /t)	(0.529m ³ /t)	(0.522m ³ /t)
3	事務用紙の廃棄物削減	＜購入量に対して51%回収＞	＜購入量に対して52%回収＞	＜購入量に対して53%回収＞
	コピー用紙の回収率＝回収量（kg）／購入量（kg）			
4	総二酸化炭素排出量の管理 (CO ₂ kg/売上百万円：＜6.70)	＜H19～H24実績の平均値以下をキープ＞	＜H19～H24実績の平均値以下をキープ＞	＜H19～H24実績の平均値以下をキープ＞
	＜電気、燃料(灯油・軽油・ガソリン・LPG/売上額(万円))＞	6.70以下	6.70以下	6.70以下
5	化学物質の使用量の把握	＜実績把握＞	＜実績把握＞	＜実績把握＞
6	製品・サービスに関する環境配慮	＜実績把握＞	＜実績把握＞	＜実績把握＞

5 環境経営計画

5-1. 活動項目

No.	活 動 項 目	管理項目及び実施事項
1	CO2排出を削減するために、収集運搬量1Ton当たりの車両燃料軽油量を削減する	①収集、運搬の効率的な配車(ゲリラリ-)
		②アイドリング禁止等の運転者教育
		③貨物車の整備、点検
2	水資源削減のために、蒸留工程等の改善を図る（仕込量を基準）	①蒸気漏れ等の点検、機敏な修理・対応
		②省エネラップ等の設備改善
		③作業終了後の機敏な停止
		④作業手順書の遵守で効率作業
3	事務用紙の廃棄物削減	①裏面利用の徹底・分別回収のPR
		②分別回収の実施・計量確認
4	総二酸化炭素排出量の管理	電気、燃料(灯油・軽油・ガソリン・LPG)等の効率な使用
5	化学物質の使用量の把握	＜実績把握＞
6	製品・サービスに関する環境配慮	＜環境経営改善投資等＞

5-2. その他

- ・環境教育、周囲の清掃活動、緊急事態訓練等を実施する。

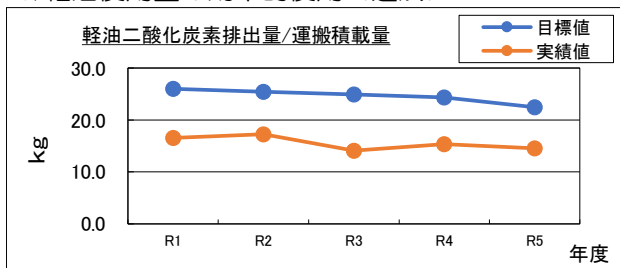
■計画の実施（Do）

6 環境経営計画に基づき実施した取組実績

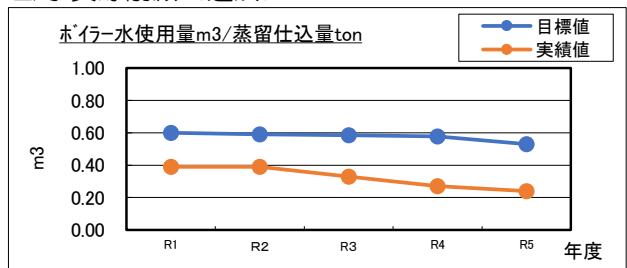
環境目標項目	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
		(R2/4~R3/3)		(R3/4~R4/3)		(R4/4~R5/3)		(R5/4~R6/3)	
関連環境負荷項目		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
1) 軽油使用量の効率的な使用									
軽油使用量	ℓ	—	21,011	—	20,796	—	21,487	—	21,897
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	—	54,208	—	53,654	—	55,436	—	56,494
二酸化炭素排出量/運搬積載量	kg/t	25.45	17.26	24.90	14.10	24.35	15.32	22.46	14.53
2) 水資源削減									
ボイラー上水使用量	m ³	—	195	—	157.8	—	134.8	—	136.9
蒸留仕込量	t	—	498	—	477	—	507	—	565
上水使用量/蒸留仕込量	m ³ /t	0.60	0.39	0.59	0.33	0.58	0.27	0.53	0.24
3) 事務用紙の廃棄物削減									
購入量	kg	—	92.4	—	54.5	—	57.1	—	78.9
回収量	kg	—	57.1	—	33.0	—	48.1	—	35.0
回収量/購入量	%	48.0	61.8	49.0	60.6	50.0	84.2	51.0	44.4
4) 総二酸化炭素排出量の管理									
二酸化炭素総排出量	t	—	153.3	—	143.6	—	142.3	—	146.8
売上額	万円	—	29,889	—	35,042	—	37,544	—	40,572
二酸化炭素総排出量/売上額	比	6.70	5.13	6.70	4.10	6.70	3.79	6.70	3.62
5) 化学物質の使用量の把握 (ton)									
		—	498	—	469	—	515	—	573
6) 製品・サービスに関する環境配慮 (件数)									
		—	4	—	6	—	5	—	1

（活動目標と実績の推移）

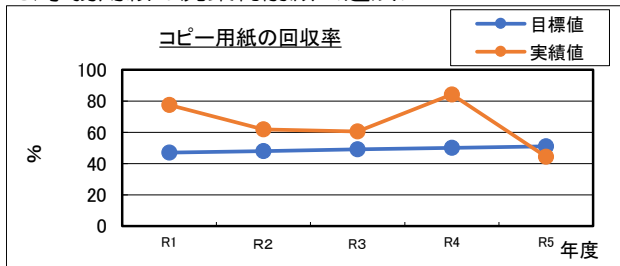
1) 軽油使用量の効率的な使用＜達成＞



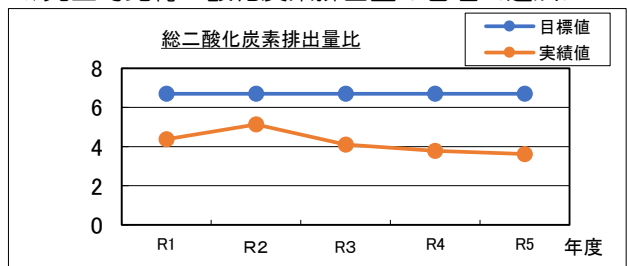
2) 水資源削減＜達成＞



3) 事務用紙の廃棄物削減＜達成＞



4) 売上対比総二酸化炭素排出量の管理＜達成＞



■取組状況の確認及び評価（Check）

7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営計画の取組結果は以下の通りです。また評価は3段階（○△×）で実施しました。

活動項目	内容	評価	次年度の取組
CO2排出を削減するために、収集運搬量1Ton当たりの車両燃料軽油量を削減する	収集、運搬の効率的な配車	○	継続して実施
	アイドリング禁止等の運転者教育	○	継続して実施
	貨物車の整備、点検	○	継続して実施
水資源削減のために、蒸留工程等の改善を図る（仕込量を基準）	蒸気漏れ等の点検、機敏な修理・対応	○	継続して実施
	省エネトラップ等の設備改善	○	継続して実施
	作業終了後の機敏なボイラー停止	○	継続して実施
	作業手順書の遵守で効率作業	○	継続して実施
事務用紙の廃棄物削減	裏面利用の徹底・分別回収のPR	○	継続して実施
	分別回収の実施・計量確認	○	継続して実施
総二酸化炭素排出量の管理 ※1	電気、燃料(灯油・軽油・ガソリン・LPG)等の効率的な使用	○	継続して実施
化学物質の使用量の把握	<実績把握>	○	継続して実施
製品・サービスに関する環境配慮	<環境経営改善投資等>	○	継続して実施

※1 総二酸化炭素排出量に使用した係数はそれぞれ次の通りです。

エネルギー名	係数
電力	0.457 Kg-Co2/Kwh
ガソリン	2.32 Kg-Co2/L
軽油	2.58 Kg-Co2/L
灯油	2.49 Kg-Co2/L
LPG	3.00 Kg-Co2/Kg

8 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況	遵守評価
1) 大気汚染防止法	・ 蒸気機・炉のばい煙発生施設の設置届出	・ 届出済	○
	・ 指定物質の排出口濃度管理	・ ホイール燃料の分析表入手・確認	○
	・ 自動車排出ガスの排出抑制に努める	・ 定期自主点検、車検整備	○
	・ 自動車の運行の自主的制限	・ 効率的な配車計画と運行	○
2) フロン排出抑制法	・ チラー、エアコン類の使用合理化、及び適正管理	・ 定期自主点検	○
3) 道路運送車両法	・ 登録、点検、整備	・ 定期自主点検と整備	○
4) 水質汚濁防止法	・ 排水基準の遵守、測定と記録	・ 定期点検及び検査による基準値適合	○
	・ 事故時の措置（緊急事態の資材準備）	・ 緊急訓練と適正設備管理	○
	・ 特定施設の設置届	・ 届出済	○
	・ 水質2種公害防止管理者選任の届出(正副2名)	・ 届出済	○
	・ 地下浸透防止	・ 設備点検、管理	○
5) 浄化槽法	・ 保守点検と清掃	・ 定期点検と法定検査	○
6) 騒音規制法	・ 規制基準の遵守、測定と記録(回/年)	・ 定期点検及び検査による基準値適合	○
7) 振動規制法	・ 規制基準の遵守、測定と記録(回/年)	・ 定期点検及び検査による基準値適合	○
8) 悪臭防止法	・ 規制基準の遵守、測定と記録(回/年)	・ 定期点検及び検査による基準値適合	○
	・ 事故時の応急措置と通報	・ 適正設備管理	○
9) 土壤汚染対策法	・ 保守点検	・ 定期点検、設備管理	○
10) 労働安全衛生法 (中毒予防規則) (フォークリフト管理)	・ 局所排気装置の設置、作業環境測定、健康診断、リスクアセスメントの周知	・ 定期測定、検査、改善	○
	・ 漏洩防止措置	・ 定期点検、設備管理	○
	・ 年次点検・整備等の管理	・ 定期点検、設備管理	○
	・ 該当溶剤の使用量報告	・ 適正管理、状況報告書作成	○
11) 毒物及び劇物 取締法	・ 盗難防止措置、漏洩防止、貯蔵場所の表示	・ 定期点検、設備管理	○
	・ 事故・盗難・紛失時への届出	・ 適正管理	○
12) 消防法 (危険物取締規則)	・ 指定数量以上の保管は貯蔵所等の許可。	・ 定期点検、許可書の適正管理、	○
	・ 保安監督者の届出。	・ 届出済	○
	・ 指定数量以下の保管は市町村条例の少量危険物の規定に従う。	・ 適正管理	○
13) 廃棄物の処理及び清掃に関する 法	・ 産業廃棄物処分業許可証	・ 許可期限の定期確認、整理	○
	・ 特別管理産業廃棄物処分業許可証	・ 許可期限の定期確認、整理	○
	・ 産業廃棄物処理委託契約書	・ 客先と適正契約管理	○
	・ 自社廃棄物の管理責任者の選任	・ 届出済	○
	・ 廃棄物保管基準の遵守	・ 適正保管表示、定期点検、設備管理	○
	・ 廃棄物処理基準の遵守	・ 法基準による適正処理	○
	・ 廃棄物委託基準の遵守 * 許可業者への書面による委託契約、 マニフェストの適正管理	・ 電子マニフェスト管理	○

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況	遵守評価
14) 特定家庭用機器再商品化法	・家電7品目廃棄時のリサイクル費用負担	・遵法による適正業者に委託	○
	・使用済家庭用家電のリサイクル化	・遵法による適正業者に委託	○
15) 使用済自動車の再資源化等に関する法	・購入時にリサイクル費用負担	・遵法による適正業者に委託	○
16) 群馬県条例	1) 環境基本法	・環境負荷低減に努力する	○
	2) 生活環境を保全する等	・環境負荷低減に努力する	○
	3) 廃棄物処理施設の構造及び維持管理等に関する基準	・定期設備点検、測定による基準値適合	○
17) 板倉町公害防止協定	・大気、水質等の生活環境を保全する	・測定による基準値適合	○

8-2. 違反、訴訟など

自社関係の違反はありません。又、外部からの環境情報、及び関係機関からも改善命令等は無く、訴訟も同様にありませんでした。

■全体の評価と見直し（Act）

9 代表者による全体評価と見直しの結果

前年に引き続き、材料費や燃料費、運賃等の値上げが多い年となった。コスト上昇に伴い、価格転嫁をさせていただいた影響もあり、今期売上は4億円を超え、自社の売上最高記録を更新する事ができました。また環境活動では、コピー用紙のリサイクル率は目標達成できなかったものの、軽油、ボイラー水、総二酸化炭素排出量は、昨年に比べそれぞれ低下し目標を達成することが事ができた。今後も継続して省エネ活動に取り組みたいと思う。